

令和7年度春季入学秋季募集 熊本県立大学大学院 アドミニストレーション研究科  
博士前期課程 一般選抜入学試験問題 英語 出題意図

**英語(共通問題)**

**1. 英文読解力の確認**

法的議論や憲法上の用語 (First Amendment, state action) を含む抽象的で長い英文を正確に理解できるか。

**2. 専門的背景の理解と表現力**

アメリカ合衆国憲法や司法判断に関する知識がなくても、文脈から「公的行為／私的行為の区別」「言論の自由の制約」というテーマを把握し、適切に日本語で表現できるか。

**3. 現代社会的文脈への対応力**

SNS、ブロック機能、言論の自由といった現代的なテーマを題材にすることで、学術研究に必要な「近年の社会的議論に即した英語」へ対応できるか。

**4. 翻訳における日本語表現の精度**

日本語として不自然でなく、かつ原文のニュアンス(「友人への誕生日メッセージ」と「合衆国最高裁判例」の対比的要素)を適切に表現できるか。

**英語(分野問題:公共・福祉)**

**1. 社会的正義や公正に関する議論の理解力**

「機会の平等 (equality of opportunity)」や「結果の平等 (equality of outcome)」という、「社会的公正」に関する基礎的議論を読み取れるか。

**2. 学術的概念を日本語に適切に再表現する能力**

Richard Tawney や John Roemer といった思想家・経済学者の議論を引き合いに出しつつ展開される論旨を、専門的背景を詳しく知らなくても正しく訳せるか。

**3. 政策的思考につながる読解力**

翻訳を通して「なぜ不平等が問題になるのか」という政策的問いを意識させ、福祉国家の設計や再分配政策の正当化を考える際の基礎となる議論を、英文から正確にくみ取れるか。

**4. 論理展開を追う力**

本文は「機会の平等の概念 → しかし結果の不平等は無視できるのか? → 「機会の平等」と「結果の平等」の違いを踏まえた議論」という流れを持つ。このような論理的展開を正確に把握し、破綻のない日本語訳として再構築できるか。